

産廃業界のデジタル化へ

産業廃棄物処理事業振興財団

オンラインセミナーを開催

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団(加藤幸男理事長)は2月19日、昨年からの事業を開始した「経営相談会」の一環としてオンラインセミナーを開催した。今回は「産廃業界の針路は『デジタル化』へ!情報共有システムのご紹介」という題でJEMS(茨城県つくば市)が講演を行った。

講演では、コロナ禍で起こったIT化の事例として「キャッシュレス決済」「モバイルオーダー」「テレワーク化(オンライン会議等)」等の普及を挙げた。

異業種ではWEB受注が主流となっていることを説明した上で、産業廃棄物処理業界におけるIT活用を普及

するための業界専門WEB受注システム「將軍-INXS」を紹介している。同システムでは「環境將軍R」との連携で

▽収集依頼▽請求書▽支払い明細書▽マニフエスト▽持ち込み予約▽許可証▽契約書——等の情報共有が容易に行えるようになる。また、研究開発中の機能としては、LINE Eとの連携を紹介した。LINE上で依頼・変更等を行えるようにする予定だという。

講演の最後にはIT化において大切なこととして「収運・処分業者と排出事業者のコミュニケーションのIT化」で「コミュニケーションが価値に変わる」ことを伝えた。